

皆さま、新年明けましておめでとうございます。世界中が混とんとする昨今ですが、健やかに平和に過ごせる一年となりますよう、お祈り申し上げます。

さて、昨年十一月二日には、嵐山町の一大イベントである、嵐山町立菅谷小学校の開校百五十周年記念式典が盛大に執り行われました。当日は、第一部の記念式典と第二部の記念演奏会に区切られ、私は二部で作曲家のショパンやシューマンのピアノ曲、また、校内で毎日の掃除時に流されているトリクエストのあった、サティのジムノペディをはじめ、約四十分間にわたりピアノ演奏をさせていただきました。お話を交えながらの演奏は、子供たちの可愛い反応や返答を受け、こちらもつい笑みがこぼれてしまう場面が多々ありました。



と共に子供たちの可愛い歌声が聞こえ、手拍子が生まれ、客席が子供たち、保護者の方、来賓と一体となり、体育館にトロロの音楽が響き渡りました。

『どういう演奏や曲目を選んだら、子供たちに自分のメッセージや気持ちを伝えられるだろうか』と記念演奏会のお話をいただいた当初から試行錯誤で準備を重ねてきただけに、子供たちの歌声が耳に聞こえてきた時、私は心の中でガッツポーズを決めていました。十月十九日に

行われた菅谷小学校の運動会、そして十月二十九日にグストティーチャーとして、六年生を対象に国際理解とキャリア教育をテーマにお話をさせていただいた事を経て、私の中でも少しずつ子供たちとの距離が縮まっていくのを感じました。

子供たちの、どの様な場面でも物おじせず、はきはきと自分の意見を言える礼儀正しい行動に感心しました。私自身も長らく日本の教育現場に触れていなかったこともあり、日本ならではの教室内の掃除や(欧米では専門業者が行う)教育水準の高さに、改めて感動と誇りを抱いた瞬間でもありました。

この百五十周年記念式典は、菅谷小学校の百五十周年の節目であるとともに、令和十一年度の新校開校に向けて新たな歩みの始まりでもあると思います。今回の様な貴重な機会に立ち会わせていただけたことに、菅谷小学校を始め、関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。また、今後益々のご発展を祈念しております。

ドイツ、カッセルにて 引田 明子

菅谷小学校創立150周年記念式典が執り行われました！

11月2日に菅谷小学校で創立150周年記念式典が執り行われました。

当日は、菅谷中学校の生徒によるソーラン節に始まり、各学年の児童による合唱や群読などの発表、嵐山町出身のピアニスト引田明子さんによる演奏会などが行われました。また、夏休み明けにギネス世界記録に申請をしていた、折り紙の蝶の最大展示数が見事にギネスワールドレコードに認定されたと発表があり、児童たちから大きな歓声が沸き起こりました。



プロフィール 引田明子

嵐山町出身。東京音楽大学を経て2005年渡独。ドイツカッセル市立音楽院、ドイツ国立ミュンスター大学大学院を経て、現在はドイツを拠点にピアニスト、チェンバリストとしての活動、およびカッセル中央教区と福音フィリップス教区の専属オルガニストとして、演奏活動を行う。

2017年、教育文化功労賞を受賞。2019年、ドイツ永住ビザ取得、現在ドイツ、カッセル在住。

紅葉まつりが開催されました！

問(一社)嵐山町観光協会 TEL0493-81-4511

11月23日、24日に嵐山渓谷紅葉まつりイベントが嵐山渓谷バーベキュー場で開催され、訪れた方々は、色鮮やかな紅葉や、グルメ・ショッピングなどを楽しみました。



▲ワンちゃんも一緒に紅葉狩り



今回の紅葉の見ごろは例年より1週間ほど遅く、イベント日にはベストタイミングではなかったものの、天候にも恵まれ、約8千人の方にご来場いただきました。イベント会場では町内外の飲食店やキッチンカーの出店だけでなく、雑貨や、嵐山産の農産物等の販売も行われ、自宅に帰っても嵐山町を堪能できるイベントとなりました。今回のワークショップではモミジや松ぼっくりを使った、シャーレキャンドル作りが行われました。参加者は、思い思いの作品を作り、嵐山渓谷の秋を存分に楽しみました。

シャーレキャンドルを実際に作ってみました！色とりどりのパーツを自由に選択・配置していくのですが、シャーレを使ったキャンドルというところもあり、実験をしているような楽しさでした。完成後も焚いた音や自分で選んだ香りを楽しめるので、制作・完成後まで、どの瞬間も楽しめるワークショップでした。



明治安田生命保険相互会社からのご寄附

11月8日、役場において寄附贈呈式が行われました。

明治安田生命保険相互会社様より51万700円のご寄附をいただきました。

この「地元元気応援寄附」は、明治安田生命保険相互会社様の従業員が居住地・出身地などゆかりのある地域を指定して行なう募金に、会社からの寄附を上乗せしていただくものです。

いただいた寄附金は、町の健康づくり事業などに活用させていただきます。

